

学習指導略案

<p>単元指導計画（全体時間 12 時間）</p>		
<p>(1)数量の間の関係を等式で表す。 (2)移項の考えを使って方程式を解く。 (3)いろいろな数量関係を方程式で表し、未知数を求める。 (4)1次方程式の問題を自分でつくる。</p>		
<p>本時の目標と展開（本時はその11時間目）平成10年9月4日実施、生徒数34名</p>		
<p>・方程式を活用した問題を作成することにより、数量関係を明確につかむことができる。</p>		
学 習 活 動	機器、教材・教具	指導上の留意点
<p>・問題を解きながら、友達にも解いてもらいたい問題を考える。</p>	<p>コンピュータ レッスンアップ</p>	<p>・「方程式の問題を解きながら、よりよい問題をつくってみよう。分からない人もいると思うので、分かりやすい解説も用意しておいてね。」と投げ掛ける</p>
<p>・方程式の問題を作成する。</p>	<p>コンピュータ ワークシート</p>	<p>・参考にした問題の数量関係を明らかにするために、「もっと短く簡単な問題に直してみたら。という助言をする。</p>
<p>・問題を発表し合う。</p>	<p>コンピュータ ワークシート</p>	<p>・問題を仲間分けして、それぞれの問題の数量関係をとらえやすくする。 ・次時は解くことを伝える。</p>

・実践者
 沼田市立沼田東中学校 下田洋一